# Document made available under the Patent Cooperation Treaty (PCT)

International application number: PCT/JP05/003787

International filing date: 04 March 2005 (04.03.2005)

Document type: Certified copy of priority document

Document details: Country/Office: JP

Number: 2004-060426

Filing date: 04 March 2004 (04.03.2004)

Date of receipt at the International Bureau: 28 April 2005 (28.04.2005)

Remark: Priority document submitted or transmitted to the International Bureau in

compliance with Rule 17.1(a) or (b)



# 日本国特許庁 JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

JP2004-060426

出願年月日

Date of Application: 2004年 3月 4日

出 願 番 号

 Application Number:
 特願2004—060426

パリ条約による外国への出願 に用いる優先権の主張の基礎 となる出願の国コードと出願 番号

The country code and number of your priority application,

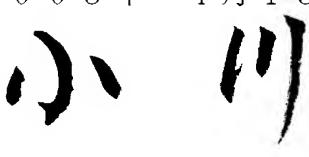
to be used for filing abroad under the Paris Convention, is

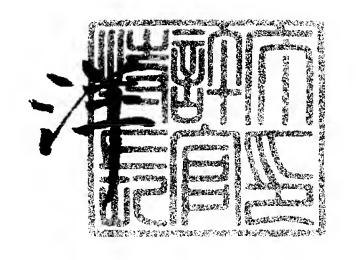
出 願 人 明治製菓株式会社

Applicant(s):

2005年 4月13日

特許庁長官 Commissioner, Japan Patent Office





【書類名】 特許願 【整理番号】 14685601 【提出日】 平成16年3月4日 【あて先】 特許庁長官殿 【国際特許分類】 C12N 15/54【発明者】 【住所又は居所】 埼玉県坂戸市千代田五丁目3番1号 明治製菓株式会社 ヘルス ・バイオ研究所内 【氏名】 中 村 博 文 【発明者】 【住所又は居所】 埼玉県坂戸市千代田五丁目3番1号 明治製菓株式会社 ヘルス ・バイオ研究所内 【氏名】 中根 公 隆 【発明者】 【住所又は居所】 埼玉県坂戸市千代田五丁目3番1号 明治製菓株式会社 ヘルス ・バイオ研究所内 【氏名】 窪 田 英 俊 【特許出願人】 【識別番号】 0 0 0 0 0 6 0 9 1 【住所又は居所】 東京都中央区京橋二丁目4番16号 【氏名又は名称】 明治製菓株式会社 【代理人】 【識別番号】 100075812 【弁理士】 【氏名又は名称】 古 賢 次 活 【選任した代理人】 【識別番号】 1 0 0 0 9 1 4 8 7 【弁理士】 【氏名又は名称】 行 孝 村 中 【選任した代理人】 【識別番号】 100094640 【弁理士】 【氏名又は名称】 紺 男 野 昭 【選任した代理人】 【識別番号】 1 0 0 1 0 7 3 4 2 【弁理士】 【氏名又は名称】 修 孝 横 田 【手数料の表示】 【予納台帳番号】 087654 【納付金額】 21,000円 【提出物件の目録】 【物件名】 特許請求の範囲 【物件名】 明細書 【物件名】

要約書

# 【書類名】特許請求の範囲

# 【請求項1】

62番、122番、128番、165番、221番、395番、および550番の少なくとも1つのアミノ酸残基において変異を有する配列番号2に記載のアミノ酸配列またはその相同体からなる、βーフルクトフラノシダーゼ変異体。

# 【請求項2】

変異が、置換である、請求項1に記載の変異体。

#### 【請求項3】

置換が、

- 62番のアミノ酸残基の、アスパラギン酸およびグルタミン酸からなる群から選択される酸性アミノ酸への置換、
- 122番のアミノ酸残基の、メチオニン、イソロイシン、ロイシン、およびバリンからなる群から選択されるアミノ酸への置換、
- 128番のアミノ酸残基の、アスパラギンおよびグルタミンからなる群から選択されるアミノ酸への置換、
- 165番のアミノ酸残基の、トリプトファン、フェニルアラニン、およびチロシンからなる群から選択される芳香族アミノ酸への置換、
- 221番のアミノ酸残基の、トリプトファン、フェニルアラニン、およびチロシンからなる群から選択される芳香族アミノ酸への置換、
- 395番のアミノ酸残基の、ロイシン、メチオニン、イソロイシン、およびバリンからなる群から選択されるアミノ酸への置換、および
- 550番のアミノ酸残基の、セリンおよびスレオニンからなる群から選択されるヒドロキシアミノ酸への置換

である、請求項2に記載の変異体。

#### 【請求項4】

配列番号2に記載のアミノ酸配列およびその相同体の、170番、300番、313番、および386番目の少なくとも1つのアミノ酸残基において、更に変異を有する、請求項1~3のいずれか一項に記載の変異体。

#### 【請求項5】

変異が置換である、請求項4に記載の変異体。

#### 【請求項6】

置換が、

- 170番のアミノ酸残基の、トリプトファン、フェニルアラニン、およびチロシンからなる群から選択される芳香族アミノ酸への置換、
- 300番のアミノ酸残基の、トリプトファン、フェニルアラニン、チロシンおよびバリンからなる群から選択されるアミノ酸への置換、
- 3 1 3 番のアミノ酸残基の、リジン、アルギニン、およびヒスチジンからなる群から選択される塩基性アミノ酸への置換、および
- 386番のアミノ酸残基の、リジン、アルギニン、およびヒスチジンからなる群から選択される塩基性アミノ酸への置換

である、請求項5に記載の変異体。

#### 【請求項7】

40番、379番、および381番の少なくとも1つのアミノ酸残基において変異を有する配列番号2に記載のアミノ酸配列またはその相同体からなる、βーフルクトフラノシダーゼ変異体。

#### 【請求項8】

変異が、置換である、請求項7に記載の変異体。

#### 【請求項9】

置換が、

40番のアミノ酸残基の、アスパラギン酸およびグルタミン酸からなる群から選択され

る酸性アミノ酸への置換、

- 379番のアミノ酸残基の、システインへの置換、および
- 381番のアミノ酸残基の、メチオニン、イソロイシン、ロイシン、およびバリンからなる群から選択されるアミノ酸への置換 である、請求項8に記載の変異体。

# 【請求項10】

請求項1~9のいずれか一項に記載のβーフルクトフラノシダーゼ変異体をコードする、ポリヌクレオチド。

# 【請求項11】

請求項10に記載のポリヌクレオチドを含んでなる、組換えベクター。

#### 【請求項12】

請求項11に記載の組換えベクターを含んでなる、形質転換体。

# 【請求項13】

請求項12に記載の形質転換体または請求項1~9のいずれか一項に記載のβーフルクトフラノシダーゼ変異体とスクロースを接触させる工程を含んでなる、フラクトオリゴ糖の製造法。

【書類名】明細書

【発明の名称】 β-フルクトフラノシダーゼ変異体

【発明の属する技術分野】

 $[0\ 0\ 0\ 1]$ 

本発明は、ショ糖から特定のフラクトオリゴ糖を選択的かつ効率的に生成する $\beta$ ーフルクトフラノシダーゼ変異体に関し、より詳細には、1ーケストースを効率的に生産する $\beta$ ーフルクトフラノシダーゼ変異体およびニストースを効率的に生産する $\beta$ ーフルクトフラノシダーゼ変異体に関する。

#### 【従来の技術】

[0002]

一般にフラクトオリゴ糖は、ショ糖のフルクトースに1から3分子のフルクトースがC1とC2の位置で $\beta$ 結合しているオリゴ糖であり、難消化性の糖質で、腸内のビフィズス菌増殖促進作用、コレステロールなどの脂質代謝改善作用、難う蝕性、ミネラル吸収促進作用などの優れた生理機能を有することが見出されている。フラクトオリゴ糖は、天然には広く植物に分布しており、例えばタマネギ、アスバラガス、キクイモなどに含まれていることが知られているが、最近では、微生物由来の $\beta$ -フルクトフラノシダーゼの転移反応を利用してショ糖から大量に製造する技術が確立され、工業的に生産されている。現在フラクトオリゴ糖の工業的生産に利用されている $\beta$ -フルクトフラノシダーゼは、アスペルギルス・ニガー( $\Delta S$  pergillus niger)由来の菌体内 $\beta$ -フルクトフラノシダーゼを利用している。

[0003]

当該 $\beta$ ーフルクトフラノシダーゼをコードする遺伝子は、WO97/34004号公報(特許文献1)に開示されている。しかし、当該 $\beta$ ーフルクトフラノシダーゼは、1ーケストース、ニストース、1ーフルクトシルニストースの混合物としてフラクトオリゴ糖を生成するため、フラクトオリゴ糖はオリゴ糖混合物のシロップあるいは粉末として製造、提供されている。単一成分として、1ーケストースあるいはニストースを選択的かつ効率的に生産する $\beta$ ーフルクトフラノシダーゼが得られれば、次のような有用性が存在する。すなわち、1ーケストースあるいはニストースを高純度に精製し、結晶化させることによって、フラクトオリゴ糖の生理機能を保持したまま、物性および加工特性上優れた特性を有する単一成分の結晶フラクトオリゴ糖を製造することが可能となる。

 $[0\ 0\ 0\ 4\ ]$ 

一方、ショ糖を原料とした結晶 1-ケストースの工業的製造法は、例えば、WO97/21718号公報(特許文献 2)に開示されている。すなわち、 $\beta-$ フルクトフラノシダーゼをショ糖に作用させて1-ケストースに生成させ、クロマト分離法により1-ケストースを純度 80%以上に生成した後、これを結晶化原液として純度 95%以上の結晶 1-ケストースを得る方法である。この方法に用いられる酵素の特性として、ショ糖から 1-ケストースへの変換率が高いこと、ニストースの生成量が低いことが工業的製造法において求められている。また同様にニストースを単一成分として製造する場合には、ニストースへの変換率が高いこと、1-フルクトシルニストースの生成量が低いことが工業的製造法において求められている。

【特許文献1】WO97/34004号公報

【特許文献 2】 W O 9 7 / 2 1 7 1 8 号 公報

【発明の開示】

【発明が解決しようとする課題】

 $[0\ 0\ 0\ 5]$ 

本発明は、フラクトオリゴ糖の単一成分、例えば1-ケストースあるいはニストースの製造に適するように反応特性が改善された $\beta-$ フルクトフラノシダーゼ変異体およびその遺伝子の提供をその目的とする。

【課題を解決するための手段】

[0006]

本発明者らは、配列番号2のアミノ酸配列中の特定位置のアミノ酸残基を他のアミノ酸 残基に置換した $\beta$ ーフルクトフラノシダーゼ変異体が、1ーケストースあるいはニストースの製造に適する反応特性を有していることを見出した。

### $[0\ 0\ 0\ 7\ ]$

すなわち本発明の第一の態様によれば、62番、122番、128番、165番、221番、395番、および550番の少なくとも1つのアミノ酸残基において変異を有する配列番号2に記載のアミノ酸配列またはその相同体からなる、 $\beta$  ーフルクトフラノシダーゼ変異体およびその変異体をコードするポリヌクレオチドが提供される。本発明の第一の態様による変異体によれば、1-ケストースの効率的な製造が可能となる。

#### [0008]

本発明の第二の態様によれば、40番、379番、および381番の少なくとも1つのアミノ酸残基において変異を有する配列番号2に記載のアミノ酸配列またはその相同体からなる、 $\beta$ -フルクトフラノシダーゼ変異体およびその変異体をコードするポリヌクレオチドが提供される。本発明の第二の態様による変異体によれば、ニストースの効率的な製造が可能となる。

#### $[0\ 0\ 0\ 9\ ]$

本発明による $\beta$ -フルクトフラノシダーゼ変異体を用いれば、フラクトオリゴ糖を製造する際の酵素反応液の糖組成を改善することが可能となり、フラクトオリゴ糖の単一成分の効率的な製造が可能となる。すなわち、本発明による $\beta$ -フルクトフラノシダーゼ変異体によれば、従来と比較して簡便に、かつ安価にフラクトオリゴ糖の単一成分の工業的製造が可能となる点で有利である。

#### 【発明の具体的説明】

#### $[0 \ 0 \ 1 \ 0]$

#### <u>β-フルクトフラノシダーゼ変異体およびその遺伝子</u>

本発明による第一および第二の態様による変異体は、配列番号2に記載のアミノ酸配列およびその相同体の特定のアミノ酸残基の少なくとも1つに変異が導入されてなるものである。

#### 

変異が導入されるアミノ酸残基の位置は、配列番号2のアミノ酸配列のアミノ酸残基番号と対応する。

# [0012]

本発明において「変異」とは、置換、欠失、および挿入を意味する。

#### $[0\ 0\ 1\ 3]$

「置換」とは、特定のアミノ酸残基が取り除かれ、かつ他のアミノ酸残基が同じ位置に 挿入されていることをいう。

#### 

「欠失」とは、特定のアミノ酸残基が取り除かれていることを意味する。

#### $[0\ 0\ 1\ 5]$

「挿入」とは、特定のアミノ酸残基の前にあるいは後ろに、1 個または複数個のアミノ酸残基が挿入されていることをいい、具体的には、特定のアミノ酸残基の $\alpha$  ーカルボキシル基あるいは $\alpha$  ーアミノ基に、1 個または複数個、好ましくは、1 個ないし数個、のアミノ酸残基が結合することをいう。

#### $[0\ 0\ 1\ 6]$

配列番号2に記載のアミノ酸配列およびその相同体に導入される特定変異の数は特に限定されないが、1個ないし数個、あるいは1または2個であることができる。

#### $[0 \ 0 \ 1 \ 7]$

本発明の第一および第二の態様による変異体において、配列番号2に記載のアミノ酸配列およびその相同体に導入される変異は、好ましくは、置換である。

#### [0018]

本発明の第一の態様による変異体において、配列番号2に記載のアミノ酸配列およびそ

の相同体の62番、122番、128番、165番、221番、395番、および550番のアミノ酸残基に導入される置換は、好ましくは、下記の通りである。

- [0019]
- 62番のアミノ酸残基の、アスパラギン酸およびグルタミン酸からなる群から選択される酸性アミノ酸、特にグルタミン酸、への置換。
  - [0020]
- 122番のアミノ酸残基の、メチオニン、イソロイシン、ロイシン、およびバリンからなる群から選択されるアミノ酸、特にメチオニン、への置換。
  - [0021]
- 128番のアミノ酸残基の、アスパラギンおよびグルタミンからなる群から選択されるアミノ酸、特にアスパラギン、への置換。
  - [0022]
- 165番のアミノ酸残基の、トリプトファン、フェニルアラニン、およびチロシンからなる群から選択される芳香族アミノ酸、特にフェニルアラニン、への置換。
  - [0023]
- 221番のアミノ酸残基の、トリプトファン、フェニルアラニン、およびチロシンから なる群から選択される芳香族アミノ酸、特にチロシン、への置換。
  - $[0 \ 0 \ 2 \ 4]$
- 395番のアミノ酸残基の、ロイシン、メチオニン、イソロイシン、およびバリンからなる群から選択されるアミノ酸、特にロイシン、への置換。
  - [0025]
- 550番のアミノ酸残基の、セリンおよびスレオニンからなる群から選択されるヒドロキシアミノ酸、特にセリン、への置換。
  - [0026]

本発明の第一の態様による変異体においては、配列番号 2 に記載のアミノ酸配列およびその相同体の、170番、300番、313番、および 386番の少なくとも 1つのアミノ酸残基において、更に変異、好ましくは、置換、を有していてもよい。これらの変異を有する $\beta$ -フルクトフラノシダーゼは、1-ケストースを選択的にかつ効率的に生産できる点で有利である(例えば、WO99/13059号公報参照)。

 $[0\ 0\ 2\ 7]$ 

本発明の第一の態様による変異体において、配列番号2に記載のアミノ酸配列およびその相同体の170番、300番、313番、および386番に導入することができる置換は、好ましくは、下記の通りである。

- [0028]
- 170番のアミノ酸残基の、トリプトファン、フェニルアラニン、およびチロシンからなる群から選択される芳香族アミノ酸、特にトリプトファン、への置換。
  - [0029]
- 300番のアミノ酸残基の、トリプトファン、フェニルアラニン、チロシンおよびバリンからなる群から選択されるアミノ酸への置換。
  - [0030]
- 313番のアミノ酸残基の、リジン、アルギニン、およびヒスチジンからなる群から選択される塩基性アミノ酸、特にリジンまたはアルギニン、への置換。
  - [0031]
- 386番のアミノ酸残基の、リジン、アルギニン、およびヒスチジンからなる群から選択される塩基性アミノ酸、特にリジン、への置換。
  - $[0\ 0\ 3\ 2]$

本発明の第一の態様による変異体において、配列番号2に記載のアミノ酸配列およびその相同体に導入することができる好ましい多重変異としては、165番のアミノ酸残基と、300番のアミノ酸残基と、313番のアミノ酸残基の三重変異、より好ましくは三重置換、が挙げられ、特に好ましくは、165番のアミノ酸残基のフェニルアラニンへの置

換と、300番のアミノ酸残基のバリンへの置換と、および313番のアミノ酸残基のリジンへの置換とからなる三重置換が挙げられる。

# [0033]

本発明の第二の態様による変異体において、配列番号2に記載のアミノ酸配列およびその相同体の40番、379番、および381番のアミノ酸残基に導入される置換は、好ましくは、下記の通りである。

# $[0\ 0\ 3\ 4\ ]$

40番のアミノ酸残基の、アスパラギン酸およびグルタミン酸からなる群から選択される酸性アミノ酸、特にアスパラギン酸、への置換。

#### [0035]

379番のアミノ酸残基の、システインへの置換。

#### [0036]

381番のアミノ酸残基の、メチオニン、イソロイシン、ロイシン、およびバリンからなる群から選択されるアミノ酸、特にメチオニン、への置換。

#### $[0\ 0\ 3\ 7]$

本発明による第一および第二の態様による変異体において、「相同体」とは、1 個または複数個の変異を有する配列番号 2 に記載のアミノ酸配列であって、 $\beta$  ーフルクトフラノシダーゼ活性を有するもの、を意味する。変異の数は、1 個ないし数個、あるいは 1 、2 、3 、または 4 個であることができる。

#### [0038]

本発明において、相同体がβーフルクトフラノシダーゼ活性を有するか否かは、例えば、そのアミノ酸配列からなるタンパク質を基質に作用させ、反応産物を検出することにより評価することができ、例えば、実施例2に記載の方法に従って評価することができる。

#### $[0\ 0\ 3\ 9\ ]$

相同体における本発明による特定変異の位置は、配列番号2のアミノ酸配列と当該相同体とを整列することにより、相同体に与えられた配列番号2のアミノ酸残基番号に対応する。例えば、相同体における「62番のアミノ酸残基の変異」とは、その相同体の62番目のアミノ酸残基の変異ではなく、配列番号2のアミノ酸配列の62番のアミノ酸残基に対応する相同体のアミノ酸残基の変異を意味する。

#### $[0 \ 0 \ 4 \ 0]$

配列番号 2 のアミノ酸配列と当該相同体との整列は、配列同一性を調べるための分析用ソフトウエアを用いて行うことができる。このようなソフトウエアは周知であり、当業者であれば適宜選択して使用することができることは言うまでもない。例えば、BLAST法(Basic local alignment search tool; Altschul, S.F. et al., J.Mol.Biol., 215, 40 3-410 (1990))を使用して配列番号 2 のアミノ酸配列と当該相同体とを整列させて、対応するアミノ酸残基を決定することができる。

#### $[0 \ 0 \ 4 \ 1]$

相同体の例としては、1個または複数個(例えば、1個ないし数個)の活性に影響を与えない変異を有する配列番号2に記載のアミノ酸配列が挙げられる。

#### $[0 \ 0 \ 4 \ 2]$

ここで「活性に影響を与えない変異」の例としては、保存的置換が挙げられる。「保存的置換」とは、タンパク質の活性を実質的に改変しないように1若しくは複数個のアミノ酸残基を、別の化学的に類似したアミノ酸残基で置き換えることを意味する。例えば、ある疎水性残基を別の疎水性残基によって置換する場合、ある極性残基を同じ電荷を有する別の極性残基によって置換する場合などが挙げられる。このような置換を行うことができる機能的に類似のアミノ酸は、アミノ酸毎に当該技術分野において公知である。具体例を挙げると、非極性(疎水性)アミノ酸としては、アラニン、バリン、イソロイシン、ロリン、プロリン、トリプトファン、フェニルアラニン、メチオニン等が挙げられる。極性(中性)アミノ酸としては、グリシン、セリン、スレオニン、チロシン、グルタミン、アスパラギン、システィン等が挙げられる。陽電荷をもつ(塩基性)アミノ酸としては、ア

ルギニン、ヒスチジン、リジン等が挙げられる。また、負電荷をもつ(酸性)アミノ酸としては、アスパラギン酸、グルタミン酸等が挙げられる。

# [0043]

「相同体」の例としては、Aspergillus 属に属する微生物から生産される $\beta$ -フルクトフラノシダーゼが挙げられ、例えば、Aspergillus niger由来の $\beta$ -フルクトフラノシダーゼ、Scopulariopsis brevicaulis 由来の $\beta$ -フルクトフラノシダーゼ、Penicillium roquefortii 由来の $\beta$ -フルクトフラノシダーゼが挙げられる。Scopulariopsis brevicaulis 由来の $\beta$ -フルクトフラノシダーゼとしてはWO99/13059号公報の配列番号1のアミノ酸配列からなるタンパク質(配列番号4)が挙げられる。また、Penicillium roquefortii 由来の $\beta$ -フルクトフラノシダーゼとしてはWO99/13059号公報の配列番号3のアミノ酸配列からなるタンパク質(配列番号6)が挙げられる。

#### [0044]

本発明によれば、本発明によるβーフルクトフラノシダーゼ変異体をコードする遺伝子が提供される。

#### [0045]

一般に、タンバク質のアミノ酸配列が与えられれば、それをコードするDNA配列は、いわゆるコドン表を参照して容易に定まる。従って、本発明による特定変異が導入された配列番号 1 のアミノ酸配列およびその相同体、例えば、本発明による特定変異が導入された配列番号 1 、3、および 5 のアミノ酸配列、をコードする種々のDNA配列を適宜選択することが可能である。よって、本発明による特定変異が導入された $\beta$  ーフルクトフラノシダーゼ変異体をコードするDNA配列とは、本発明による特定アミノ酸変異に対応にあるコドンが使用されている以外は同一のDNA配列を有し、かつ $\beta$  ーフルクトフラノシダーゼ変異体をコードするDNA配列をも意味する。例えば、本発明による特定変異が導えた配列番号 1 、3、および 5 のアミノ酸配列をコードするDNA配列とは、後述するれた配列番号 1 、3、および 5 ののNA配列とは、その縮重関係にあるコドンが使用されている以外は同一のDNA配列を有し、かつ $\beta$  ーフルクトフラノシダーゼ変異体をコードするDNA配列をも意味する。

#### $[0\ 0\ 4\ 6]$

#### β - フルクトフラノシダーゼ変異体の作製

 $\beta$ ーフルクトフラノシダーゼ変異体は、組換之DNA技術、ポリペプチド合成技術などによって作製することができる。組換之DNA技術を用いる場合には、 $\beta$ ーフルクトフラノシダーゼをコードするDNA(例えば、配列番号 1、3、または5のDNA配列)を取得し、このDNAに部位特異的変異あるいはランダム変異を発生させてコードするアミノ酸を置換させた後、変異処理を施したDNAを含む発現ベクターで宿主細胞を形質転換し、形質転換細胞を培養することによって $\beta$ ーフルクトフラノシダーゼ変異体を調製することができる。

#### $[0\ 0\ 4\ 7]$

遺伝子の部位特異的変異を導入するための方法は、Gapped duplex法やKunkel法など当業者に周知の方法を用いることができる。これらの方法は、 $\beta$  ーフルクトフラノシダーゼをコードする DNAの特異的部位に突然変異を発生させることに利用することができる。

#### [0048]

また、ランダム変異を導入するためには、エラープローンPCR法など一般的に行われている方法が採用できる。変異処理後のDNAの塩基配列は、マキサム・ギルバートの化学修飾法やジデオキシヌクレオチド鎖終結法などにより確認することができ、 $\beta$ ーフルクトフラノシダーゼ変異体のアミノ酸配列は、確認された塩基配列より解読することができる。

#### [0049]

#### <u>β-フルクトフラノシダーゼ変異体の生産</u>

βーフルクトフラノシダーゼ変異体は、それをコードするDNA断片を、宿主細胞内で

複製可能でかつ同遺伝子が発現可能な状態で含むDNA分子、特にDNA発現ベクター、に連結してなる組換えベクターを調製し、その組換えベクターを宿主に導入して形質転換体を得、その形質転換体を適当な培養条件下で培養することにより、調製することができる。

# [0050]

本発明において利用されるベクターは、使用する宿主細胞の種類を勘案して、ウィルス、プラスミド、コスミドベクターなどから適宜選択することができる。例えば、宿主細胞が大腸菌の場合はpUC、pBR系のプラスミド、枯草菌の場合はpUB系のプラスミド、酵母の場合はYEp、YRp、YCp系のプラスミドベクターが挙げられる。

#### $[0\ 0\ 5\ 1]$

本発明の好ましい態様によれば、組換之ベクターとしてプラスミドを使用することができる。プラスミドは形質転換体の選択マーカーを含むのが好ましく、選択マーカーとしては薬剤耐性マーカー、栄養要求マーカー遺伝子を使用することができる。その好ましい具体例としては、使用する宿主細胞が細菌の場合はアンピシリン耐性遺伝子、カナマイシン耐性遺伝子、テトラサイクリン耐性遺伝子などであり、酵母の場合はトリプトファン合成遺伝子(TRP1)、ウラシル合成遺伝子(URA3)、ロイシン合成遺伝子(LEU2)などがあり、カビの場合はハイグロマイシン耐性遺伝子(Hyg)、ビアラホス耐性遺伝子(Bar)、硝酸還元酵素遺伝子(niaD)などが挙げられる。

#### $[0\ 0\ 5\ 2]$

本発明による発現ベクターとしてのDNA分子は、変異遺伝子の発現に必要なDNA配列、例えばプロモーター、転写開始信号、リボゾーム結合部位、翻訳停止シグナル、転写終結シグナルなどの転写調節シグナル、翻訳調節シグナルなどを有しているのが好ましい

#### $[0\ 0\ 5\ 3]$

プロモーターとしては、挿入断片に含まれる宿主中において機能することができるプロ モーターはもちろんのこと、大腸菌においてはラクトースオペロン

(1ac)、トリプトファンオペロン(trp)等のプロモーター、酵母ではアルコールデヒドロゲナーゼ遺伝子(ADH)、酸性フォスファターゼ遺伝子

(PHO)、ガラクトース遺伝子(GAL)、グリセロアルデヒド 3 リン酸デヒドロゲナーゼ遺伝子(GPD)などのプロモーター、カビでは $\alpha$ ーアミラーゼ遺伝子(amy)、セロビオハイドロラーゼ I 遺伝子(CBHI)等のプロモーターを好ましく用いることができる。

#### $[0\ 0\ 5\ 4]$

宿主としては、宿主一ベクター系が確立されているものであればいずれも利用可能であり、好ましくは、カビ、酵母が挙げられる。宿主細胞の形質転換により得られた形質転換体は、適当な条件で培養し、得られた培養液から一般的な方法によって酵素の分取や精製を行うことにより $\beta$ -フルクトフラノシダーゼ変異体を得ることができる。また、宿主が枯草菌、酵母、カビの場合には、分泌型ベクターを使用して、菌体外に組換え $\beta$ -フルクトフラノシダーゼを分泌させることも有利である。

#### $[0\ 0\ 5\ 5]$

形質転換体から生産される本発明による変異体は、次のようにして得ることが出来る。まず前記の宿主細胞を適切な条件下で培養し、得られた培養物から公知の方法、例えば遠心分離により培養上清あるいは菌体を得る。菌体の場合にはこれを適切な緩衝液中に懸濁し、凍結融解、超音波処理、磨砕等により菌体を破砕し、遠心分離またはろ過により組換え新規酵素を含有する菌体抽出物を得る。

#### $[0\ 0\ 5\ 6]$

酵素の精製は、慣用されている分離、精製法を適宜組み合わせて実施することができる。例えば、熱処理のような耐熱性の差を利用する方法、塩沈澱および溶媒沈澱のような溶解性の差を利用する方法、透析、限外ろ過、ゲルろ過およびSDSーポリアクリルアミドゲル電気泳動のような分子量の差を利用する方法、イオン交換クロマトグラフィーのよう

な電荷の差を利用する方法、アフィニティークロマトグラフィーのような特異的親和性を 利用する方法、疎水クロマトグラフィー、逆相クロマトグラフィーのような疎水性の差を 利用する方法、更に等電点電気泳動のような等電点の差を利用する方法等が挙げられる。

#### $[0\ 0\ 5\ 7]$

#### フラクトオリゴ糖の製造

本発明によれば、本発明による形質転換体または本発明による $\beta$ -フルクトフラノシダーゼ変異体を用いた、フラクトオリゴ糖の製造法が提供される。すなわち、本発明によるフラクトオリゴ糖の製造法は、本発明による形質転換体または本発明による $\beta$ -フルクトフラノシダーゼ変異体と、スクロースとを接触させることによって実施される。

# [0058]

本発明による形質転換体または本発明による $\beta$ -フルクトフラノシダーゼ変異体と、スクロースとの接触態様およびその条件は、変異体がスクロースに作用可能な様態である限り特に限定されない。溶液中で接触させる場合の好ましい態様を示せば次の通りである。すなわち、スクロースの使用濃度は、用いる糖が溶解されうる範囲であれば、本酵素の比活性、反応温度等を考慮して適宜選択してよいが、 $5\sim80\%$ の範囲とするのが一般的であり、好ましくは $30\sim70\%$ の範囲である。糖と酵素との反応における反応温度およびp H条件は、変異体の最適条件下で行うことが好ましく、例えば、 $30\sim80$  C 程度、p H 4  $\sim$  10 程度の条件下で行うのが一般的であり、好ましくは $40\sim70$  C、p H  $5\sim7$  の範囲である。

# [0059]

また、変異体の精製の程度も適宜選択することができ、形質転換体の培養上清あるいは 菌体破砕物から粗酵素のまま用いることもでき、また、各種精製工程で得られた精製酵素 として利用してもよい。さらには各種精製手段を経て単離精製された酵素として用いても よい。

#### $[0\ 0\ 6\ 0\ ]$

更に酵素は、常法に準じて担体に固定化された状態でスクロースと接触させてもよい。

#### [0061]

生成したフラクトオリゴ糖は、反応液を公知の方法に従い精製することにより得ることが出来る。例えば、加熱して酵素を失活させた後、活性炭により脱色し、さらに、イオン交換樹脂で脱塩する方法が挙げられる。

#### $[0\ 0\ 6\ 2]$

本発明の第一の態様の変異体をフラクトオリゴ糖の調製に用いると、1-ケストース生成量が増大し、ニストース生成量が抑制される。従って、本発明によれば1-ケストースの選択的な製造法が提供される。すなわち本発明によれば、第一の態様の $\beta-$ フルクトフラノシダーゼ変異体あるいは第一の態様の $\beta-$ フルクトフラノシダーゼ変異体をコードするポリヌクレオチドを発現可能な形質転換体と、スクロースを接触させる工程を含んでなる、1-ケストースの製造法が提供される。

#### $[0\ 0\ 6\ 3]$

本発明の第二の態様の変異体をフラクトオリゴ糖の調製に用いると、ニストースの生成量が増大し、1-ケストース生成量が抑制される。従って、本発明によればニストースの選択的な製造法が提供される。すなわち本発明によれば、第二の態様の $\beta-$ フルクトフラノシダーゼ変異体をコードするポリヌクレオチドを発現可能な形質転換体と、スクロースを接触させる工程を含んでなる、ニストースの製造法が提供される。

#### 【実施例】

#### $[0\ 0\ 6\ 4]$

本発明を下記例により詳細に説明するが、本発明がこれらの例に限定されないことは言うまでもない。

#### $[0\ 0\ 6\ 5]$

<u>実施例1:β-フルクトフラノシダーゼ変異体の作製</u>

βーフルクトフラノシダーゼ遺伝子へのランダム変異の導入は、市販のPCR mut agenesis kit(Gene Morph, Stratagene社)を用いて以下のように行った。鋳 型DNAとして、ATCC20611株 (A. niger) 由来の $\beta$ ーフルクトフラノシダーゼ 遺伝子を用いた。具体的には、WO97/34004に記載のプラスミドpAW20-H у g を使用した。 P C R 反応液は、鋳型 D N A 1 μ 1 、40 m M d N T P 1 μ 1、 1 0 倍濃度の緩衝液 5 μ 1 、プライマーとして 5 ′ーG C G A A T T C A T G A A G C T CACCACTACCA-3'(N末)(配列番号7)および5'-GCGGATCCC GGTCAATTTCTCT-3'(C末)(配列番号8)250ng/m1を各0.5  $\mu$  1、Mutazyme 1  $\mu$  1、DMSO 5  $\mu$  1、滅菌水3 6  $\mu$  1を加えて5 0  $\mu$  1とした。 反応は94℃、2分間の前処理後、94℃、1分間(変性ステップ)、50℃、2分間( アニーリングステップ)、72℃、2.5分間(伸長ステップ)のインキュベーションを 30サイクル行った。最後に72℃、3分間のインキュベーションを行い反応を終了させ た。反応液をフェノール・クロロホルム・イソアミルアルコールで抽出し、その後エタノ ール沈殿を行った。沈殿をTE緩衝液に溶解後、アガロース電気泳動を行い、特異的に増 幅された1.9 k b p のバンドを常法に従って切り出して D N A 断片を回収した。 W O 9 7/34004に記載の方法で、1.9kbpのEcoRI-BamHI断片をpY28 3 1 のEcoRI-BamHI部位に挿入したプラスミドをS. cerevisiae MS-161 株に酢酸リチウム法で導入し、形質転換体を得た。得られた形質転換体をSD-GF培地 (O. 6 7 % yeast nitrogen base w/o amino acids、2% スクロース、2% casam ino acids、50μg/ml ウラシル)で30℃、3日間培養し、βーフルクトフラノシ ダーゼ変異体を得た。

#### $[0\ 0\ 6\ 6]$

#### 実施例2:β-フルクトフラノシダーゼ変異体の反応特性の評価

実施例1で作製した $\beta$ -フルクトフラノシダーゼ変異体を用いてスクロースを基質とした酵素反応を基質濃度48%、pH7、40%の反応条件で行い、反応液の糖組成をHPLC分析した。野生型 $\beta$ -フルクトフラノシダーゼの酵素反応液の糖組成と比較して、糖組成が変動したものを反応特性が改変された $\beta$ -フルクトフラノシダーゼ変異体とした。

#### $[0\ 0\ 6\ 7\ ]$

反応特性が改変された $\beta$ -フルクトフラノシダーゼ変異体の変異点を同定するために、DNA塩基配列を解析した。ファルマシア社のDNAシークエンスキットを用い、シークエンス反応を行った。反応後のサンプルは、ファルマシア社のDNAシークエンサー(ALFred)を用いて解析を行い、各DNA断片の塩基配列を得た。その後、DNA解析ソフト(DNASIS、日立ソフトウエアエンジニアリング社)にて最終的な塩基配列を得て、ランダム変異の導入された変異点を決定した。その結果、表1および表2に示したように、1-ケストース生成量が増大し、ニストース生成量が抑制される $\beta$ -フルクトフラノシダーゼ変異体、およびニストース生成量が増大した $\beta$ -フルクトフラノシダーゼ変異体が得られていることが明らかとなった。

# 【表 1】

# 表 1:1-ケストース生成量が増大し、ニストース生成量が 抑制されたβ-フルクトフラノシダーゼ変異体

	F	G	GF	GF <sub>2</sub>	GF <sub>3</sub>	GF <sub>4</sub>
野生型	0.4	22.3	20.5	45. 1	11.3	0.3
G 6 2 E	0.6	22.1	21.1	46.0	10.0	0.2
L 1 2 2 M	0.7	22.1	19.7	47.9	9.6	0.0
I 1 2 8 N	0.8	20.7	26.5	45. 1	6. 5	0.5
V 1 6 5 F	0.6	22.0	19.8	46.8	10.8	0.0
H 2 2 1 Y	0.6	23.8	20.1	45.8	9. 5	0.2
Q395L	0.6	22. 1	21.4	46.5	9. 1	0.2
T 5 5 0 S	0.9	26.3	13. 1	48.4	10.4	0.9

F:フルクトース

G:グルコース

GF:スクロース

GF2:1-ケストース

GF3:ニストース

GF4:1-フルクトシルニストース

# 【表 2】

# 表 2: ニストースの生成量が増大し、1 ーケストース生成量が 抑制されたβ-フルクトフラノシダーゼ変異体

	F	G	G F	GF <sub>2</sub>	$GF_3$	$GF_4$
野生型	0.4	22.3	20.5	45.1	11.3	0.3
G 4 0 D	0.6	22.3	20.3	41.6	14.7	0.5
T 3 8 1 M	1.5	23.7	23.9	28.8	19.3	2.8
W 3 7 9 C	1.1	22.6	22.5	36. 2	17.0	0.6

F:フルクトース

G:グルコース

GF:スクロース

GF2:1-ケストース

GF3: ニストース

GF4:1-フルクトシルニストース

# [0068]

得られた変異とそれに対応するDNA配列は下記の通りであった。下線は変異したDNAを示す。

# 表3:変異部分のアミノ酸残基とDNA配列

G 6 2 E	GAC	$G \underline{\underline{\mathbf{A}}} G$	G A C	
	Asp	Glu	A s p	(配列番号9)
L 1 2 2 M	ттс	<u>A</u> T G	ССС	
	Phe	Met	Pro	(配列番号10)
I 1 2 8 N	тсс	A <u>A</u> C	ССС	
	Ser	A s n	Pro	(配列番号11)
V 1 6 5 F	GCC	<u>T</u> T C	G A C	
	Ala	P h e	Asp	(配列番号12)
H 2 2 1 Y	GTG	<u>T</u> A C	G G C	
	V a l	Туr	Gly	(配列番号13)
Q 3 9 5 L	GCC	C <u>T</u> G	C A G	
	Ala	Leu	Gln	(配列番号14)
T 5 5 0 S				
	Phe	Ser	Glu	(配列番号15)
G 4 0 D		G <u>A</u> C		
	Ile	A s p	Asp	(配列番号16)
T 3 8 1 M	ТТБ	A <u>T</u> G	G G C	
	Leu	Met	Gly	(配列番号17)
W 3 7 9 C				
	V a l	C y s	Leu	(配列番号18)

 $[0 \ 0 \ 6 \ 9]$ 

#### 実施例3:部位指定変異による多重置換体の調製と反応特性の評価

# [0070]

3重置換体V165F+G300V+H313Kの反応特性を実施例2の方法に従って調べた結果は表3に記載される通りであった。野生型 $\beta$ -フルクトフラノシダーゼと比較すると、1-ケストースの糖組成%は約10%増大し、ニストースの生成量は7%減少した。

# 【表 4】

# 表 4 : 三重置換体の反応特性

	F	G	G F	GF <sub>2</sub>	GF <sub>3</sub>	GF <sub>4</sub>
野生型	0.4	22.3	20.5	45.1	11.3	0.3
V165F/G300V/H313K	1.7	22.5	15.8	55. 7	4.3	0.0

F:フルクトース

G:グルコース

GF:スクロース

GF2:1-ケストース

GF3: ニストース

GF4:1-フルクトシルニストース

```
<110> Meiji Seika Kaisya Ltd.
\langle 120 \rangle Mutated \beta -fructofranosidase
<130> 146856
< 1 4 0 >
< 1 4 1 >
< 160 > 18
\langle 170 \rangle Patent In Ver. 2.0
< 2 1 0 > 1
\langle 211 \rangle 1905
<212> DNA
<213> Aspergillus niger
< 2 2 0 >
\langle 221 \rangle CDS
\langle 222 \rangle (1).. (1905)
< 4 0 0 > 1
tca tac cac ctg gac acc acg gcc ccg ccg ccg acc aac ctc agc acc
Ser Tyr His Leu Asp Thr Thr Ala Pro Pro Pro Thr Asn Leu Ser Thr
                                          10
ctc ccc aac aac acc ctc ttc cac gtg tgg cgg ccg cgc gcg cac atc
                                                                           96
Leu Pro Asn Asn Thr Leu Phe His Val Trp Arg Pro Arg Ala His Ile
                                                             3 0
               2 0
                                      25
ctg ccc gcc gag ggc cag atc ggc gac ccc tgc gcg cac tac acc gac
                                                                           1 4 4
Leu Pro Ala Glu Gly Gln Ile Gly Asp Pro Cys Ala His Tyr Thr Asp
          35
                                                        4 5
                                 4 0
cca tcc acc ggc ctc ttc cac gtg ggg ttc ctg cac gac ggg gac ggc
                                                                           192
Pro Ser Thr Gly Leu Phe His Val Gly Phe Leu His Asp Gly Asp Gly
     50
                            5 5
                                                   6 0
                                                                           2 4 0
atc gcg ggc gcc acc acg gcc aac ctg gcc acc tac acc gat acc tcc
lle Ala Gly Ala Thr Thr Ala Asn Leu Ala Thr Tyr Thr Asp Thr Ser
                      7.0
                                             7 5
                                                                     8 0
6 5
gat aac ggg agc ttc ctg atc cag ccg ggc ggg aag aac gac ccc gtc
                                                                           288
Asp Asn Gly Ser Phe Leu Ile Gln Pro Gly Gly Lys Asn Asp Pro Val
```

9 0

95

85

			g t c V a l							3 3 6
			g t c V a l							3 8 4
			gag Glu 135							4 3 2
			aag Lys							480
			g t c V a l	_	Ala					5 2 8
			g t g V a l	Leu						5 7 6
	_		cag Gln				_	_		6 2 4
			g c g A l a 2 1 5							672
			cgc Arg							7 2 0
			ggg Gly							768
			acc Thr							8 1 6
			t t c P h e							864
		_	 a c c T h r				_ ()		_	9 1 2

				atc Ile					9 6 0
				cag Gln					1008
				g a c A s p					1056
				agc Ser 360					1 1 0 4
				t c g S e r					1 1 5 2
				ccc Pro					1 2 0 0
				ctg Leu					1 2 4 8
•		 _	 -	gag Glu	 			g g g G l y	1 2 9 6
				a g g A r g 4 4 0				atc Ile	1 3 4 4
				ctg Leu					1 3 9 2
				acg Thr					1 4 4 0
				g t g V a l					1 4 8 8

			tcg tcc Ser Ser						
			cgc acg Arg Thr		e Tyr 1				
			cgc agc Arg Ser						
	Leu		ttt act Phe Thr 550	Glu Se		Lys Leu		Phe Asp	
			cag gag Gln Glu 565		l Glu T				
			gtt gtc Val Val						
			aga tcg Arg Ser		r Asp A				
			gag ggc Glu Gly						
	G 1 y		a a c g c c A s n A l a 6 3 0	Trp Pr					1905
< 2 1 < 2 1	0 > 2 1 > 6; 2 > P; 3 > A;	RT	us niger						
	0 > 2 Tyr	His Leu	Asp Thr 5	Thr Al	a Pro F	Pro Pro 10	Thr Asn	Leu Ser 15	Thr
Leu	Pro	Asn Asn 20	Thr Leu	Phe Hi	s Val 7 25	Γrp Arg	Pro Arg	Ala His	I l e
ī.	n	A 1 - 1	C 1 C 1		. Т	n ^	λ 1 <u> </u>	т ті	٨

Leu Pro Ala Glu Gly Gln Ile Gly Asp Pro Cys Ala His Tyr Thr Asp

Pro								G l y				Asp	G l y	Asp	Gly
								L e u							S e r 8 0
Asp	Asn	G 1 y	Ser					Pro							V a l
Ala	Val	Phe						Pro 105						Thr	Pro
								Phe							Ile
Pro								Gln				Val	Ala	Arg	Asp
G 1 y 1 4 5								Asp							
His	Pro	Phe	Ala					Ala							P h e
Arg	Ser	Ala						L e u 1 8 5					G 1 u 1 9 0	Val	Ala
								Ala							Lys
Asn	A 1 a 2 1 0							Ser				His	G 1 y	Val	Gly
Pro 225								Asn						Glu	P h e 2 4 0
Gln	Tyr	Trp	Glu					Trp							Ser
Ser	Trp	G 1 y	A s p 2 6 0	Glu	G 1 y	Thr		A 1 a 2 6 5				G 1 y	P h e 2 7 0	Asn	P h e
Glu								Thr					Asp	Pro	Gln
Thr	G 1 y 2 9 0	Glu	V a l	P h e	V a 1	Thr 295	L e u	Gly	Thr	Glu	G 1 y 3 0 0	Ser	G 1 y	L e u	Pro

I 1 e 3 0 5	V a l	Pro	Gln	Val	S e r 3 1 0	Ser	I l e	His	Asp	M e t 3 1 5	Leu	Trp	Ala	Ala	G 1 y 3 2 0
Glu	V a l	G 1 y	V a l	G l y 3 2 5	Ser	Glu	Gln	Glu	G 1 y 3 3 0	Ala	Lys	V a l	Glu	P h e 3 3 5	Ser
Pro	Ser	Met	A l a 3 4 0	Gly	P h e	Leu	Asp	Trp 3 4 5	Gly	P h e	Ser	Ala	T y r 3 5 0	Ala	Ala
Ala	Gly	Lys 355	V a l	Leu	Pro	Ala	S e r 3 6 0	Ser	Ala	V a l	Ser	L y s 3 6 5	Thr	Ser	Gly
Val	G l u 3 7 0	Val	Asp	Arg	Tyr	V a l 3 7 5	Ser	P h e	V a l	Trp	L e u 3 8 0	Thr	G l y	Asp	Gln
Tyr 385	Glu	Gln	Ala	Asp	G l y 3 9 0	P h e	Pro	Thr	Ala	G l n 3 9 5	Gln	Gly	Trp	Thr	G 1 y 4 0 0
Ser	Leu	Leu	Leu	Pro 405	Arg	Glu	Leu	Lys	V a l 4 l 0	Gln	Thr	Val	Glu	A s n 4 1 5	Val
Val	Asp	Asn	G l u 4 2 0	Leu	V a l	Arg	Glu	G l u 4 2 5	G l y	Val	Ser	Trp	V a l 4 3 0	V a l	Gly
Glu	Ser	A s p 4 3 5	Asn	Gln	Thr	Ala	Arg 440	Leu	Arg	Thr	Leu	G 1 y 4 4 5	Ilе	Thr	I 1 e
Ala	Arg 450	Glu	Thr	Lys	Ala	A l a 4 5 5	Leu	Leu	Ala	Asn	G l y 4 6 0	Ser	V a l	Thr	Ala
G 1 u 4 6 5								Ala							G 1 n 4 8 0
Ser	Pro	Ser	Ser					Leu							Pro
Ala	Ser	Ala						G l n 5 0 5						Leu	Ala
Ser	Glu	L e u 5 1 5						Туr					Asn	Glu	Ser
								Ser				Pro	Thr	Asn	Pro
G 1 y 5 4 5	L e u	Asp	Ser	P h e	T h r 5 5 0	Glu	Ser	Gly	Lys	L e u 5 5 5	Arg	Leu	P h e	Asp	V a l 5 6 0
I 1 e	Glu	Asn	Gly	G l n 5 6 5	Glu	Gln	V a l	Glu	Thr 570	L e u	Asp	Leu	Thr	V a l 5 7 5	V a l

```
Val Asp Asn Ala Val Val Glu Val Tyr Ala Asn Gly Arg Phe Ala Leu
             580
                                   585
                                                          5 9 0
Ser Thr Trp Ala Arg Ser Trp Tyr Asp Asn Ser Thr Gln Ile Arg Phe
         5 9 5
                               6 0 0
                                                     6 0 5
Phe His Asn Gly Glu Gly Glu Val Gln Phe Arg Asn Val Ser Val Ser
    6 1 0
                                                 6 2 0
                          6 1 5
Glu Gly Leu Tyr Asn Ala Trp Pro Glu Arg Asn
6 2 5
                      630
                                            6 3 5
< 2 1 0 > 3
< 2 1 1 > 1 8 0 9
\langle 2 1 2 \rangle DNA
<213> Penicillium roqueforti
< 2 2 0 >
\langle 221 \rangle CDS
\langle 222 \rangle (1).. (1809)
< 4 \ 0 \ 0 > 3
gtt gat ttc cat acc ccg att gac tat aac tcg gct ccg cca aac ctt
                                                                         48
Val Asp Phe His Thr Pro Ile Asp Tyr Asn Ser Ala Pro Pro Asn Leu
                                         1 0
                                                                         96
tet acc etg gea aac gea tet ett tte aag aca tgg aga eec aga gee
Ser Thr Leu Ala Asn Ala Ser Leu Phe Lys Thr Trp Arg Pro Arg Ala
                                                           3 0
cat ctt ctc cct cca tct ggg aac ata ggc gac ccg tgc ggg cac tat
                                                                         144
His Leu Leu Pro Pro Ser Gly Asn Ile Gly Asp Pro Cys Gly His Tyr
          3 5
                                4 0
                                                      4 5
acc gat ccc aag act ggt ctc ttc cac gtg ggt tgg ctt tac agt ggg
                                                                         192
Thr Asp Pro Lys Thr Gly Leu Phe His Val Gly Trp Leu Tyr Ser Gly
     5 0
                            5 5
                                                  6 0
att tog gga gog aca aco gao gat oto gtt aco tat aaa gao oto aat
                                                                         2 4 0
lle Ser Gly Ala Thr Thr Asp Asp Leu Val Thr Tyr Lys Asp Leu Asn
6 5
                      7 0
                                            7 5
                                                                   80
ccc gat gga gcc ccg tca att gtt gca gga gga aag aac gac cct ctt
                                                                         288
Pro Asp Gly Ala Pro Ser Ile Val Ala Gly Gly Lys Asn Asp Pro Leu
                   8 5
                                         9 ()
                                                               9 5
tet gte tte gat gge teg gte att eea age ggt ata gae gge atg eea
                                                                         3 3 6
Ser Val Phe Asp Gly Ser Val IIe Pro Ser Gly IIe Asp Gly Met Pro
```

1 0 0	1 1 0
-------	-------

	c t g L e u 1 1 5										3 8 4
	a c c T h r										4 3 2
	cac His										4 8 0
	t t t P h e										5 2 8
_	cca Pro	_		_		_	_		_	_	5 7 6
	g c c A l a 1 9 5										6 2 4
	cgt Arg				_ ^						6 7 2
_	t g g T r p	-	_			_		_		t g g T r p 2 4 0	7 2 0
	ggt Gly										7 6 8
	gag Glu					_		_			8 1 6
	g g t G l y 2 7 5										8 6 4
	ctg Leu										9 1 2

				ctt Leu					960
				g c c A l a					1008
				t c c S e r 3 4 5					1056
				cct Pro					1 1 0 4
				ctg Leu					1152
 				gag Glu			_		1 2 0 0
			_	gac Asp		_		_	1 2 4 8
				c t c L e u 4 2 5					1 2 9 6
				gct Ala					1344
				ctg Leu					1 3 9 2
				cag Gln					1 4 4 0
				t a c T y r					1488
				agt Ser					1536

ΓΛΛ	ΓΛΓ	Г	1	Λ
5 0 0	5 0 5	5	1	V

	atc Ile															1584
	c g a A r g 5 3 0															1632
	g a t A s p															1680
	act Thr															1728
	cat His															1776
	gga Gly															1809
< 2 1 < 2 1	0 > 4 1 > 6 2 > P 3 > P	RT	i l l i i	um r	o q u e	fort	i									
	0 > 4 Asp	P h e	His	T h r				Туr						A s n 1 5	L e u	
Ser	Thr	L e u	A 1 a 2 0	Asn	Ala	Ser	L e u		Lys	Thr	Trp	Arg	Pro 30	Arg	Ala	
His	Leu	L e u 3 5	Pro	Pro				I I e			P r o	C y s 4 5	Gly	H i s	Туr	
Thr	A s p 5 0	Pro	L y s	Thr	G l y	L e u 5 5	P h e	His	V a l	G l y	Trp	L e u	Туr	S e r	G l y	
I 1 e 6 5	Ser	Gly	Ala	Thr	T h r 7 0	Asp	Asp	L e u	V a l	Thr 75	Туr	Lys	Asp	L e u	A s n 8 0	
D ^	۸	ſ1	1 1 a	D	C	II.	V o 1	A 1 a	<i>(</i> * 1	<i>(</i> * 1	Ι	A 0 =	Λ	D	I	

Pro Asp Gly Ala Pro Ser Ile Val Ala Gly Gly Lys Asn Asp Pro Leu

9 ()

95

85

Ser	V a l	Phe						Pro 105						Met	Pro
Thr	Leu							Туг					Trp	Ser	I I e
Pro	T y r 1 3 0							Gln				V a l	Ser	Tyr	Asp
G 1 y 145								Asn						Pro	T h r 1 6 0
Pro	Pro	Phe	Ala			V a l		Ala	P h e 1 7 0	Arg	Asp	Pro	Tyr	V a l 1 7 5	P h e
Gln	Ser							V a l 1 8 5						Thr	Trp
Tyr	V a l							His					Cys	Gln	P h e
Leu								Phe				Glu	Tyr	Leu	G 1 y
G 1 n 2 2 5								Thr							
				- · -				Glu							
Asn	Ala	Glu						G l y 2 6 5						L e u	Gly
Ala	Glu							V a l					Ser	I l e	Arg
Asp	Met 290							V a l				Gly	Ser	V a l	Thr
								Leu							T y r 3 2 0
Ala								Ala							
Ser	Gly	Ala	Pro 340	Asp	Arg	Phe	I I e	Ser 345	Tyr	V a l	Trp	L e u	Thr 350	Gly	Asp
L e u	P h e	Glu	Gln	V a l	Lys	Gly	Phe	Pro	Thr	Ala	Gln	Gln	Asn	Trp	Thr

Gly Ala Leu Leu Pro Arg Glu Leu Asn Val Arg Thr Ile Ser Asn 3 7 0 3 7 5 380 Val Val Asp Asn Glu Leu Ser Arg Glu Ser Leu Thr Ser Trp Arg Val 3 9 5 385 390 4 0 0 Ala Arg Glu Asp Ser Gly Gln Ile Asp Leu Glu Thr Met Gly Ile Ser 4 0 5 4 1 0 4 1 5 lle Ser Arg Glu Thr Tyr Ser Ala Leu Thr Ser Gly Ser Ser Phe Val 4 2 0 4 2 5 430 Glu Ser Gly Lys Thr Leu Ser Asn Ala Gly Ala Val Pro Phe Asn Thr 4 3 5 4 4 0 4 4 5 Ser Pro Ser Ser Lys Phe Phe Val Leu Thr Ala Asn Ile Ser Phe Pro 4 5 5 450 4 6 0 Thr Ser Ala Arg Asp Ser Gly Ile Gln Ala Gly Phe Gln Val Leu Ser 4 6 5 470 4 7 5 480 Ser Ser Leu Glu Ser Thr Thr Ile Tyr Tyr Gln Phe Ser Asn Glu Ser 485 490 495 lle lle Val Asp Arg Ser Asn Thr Ser Ala Ala Ala Arg Thr Thr Ala 5 0 0 5 0 5 5 1 0 Gly Ile Leu Ser Asp Asn Glu Ala Gly Arg Leu Arg Leu Phe Asp Val 5 1 5 5 2 0 5 2 5 Leu Arg Asn Gly Lys Glu Gln Val Glu Thr Leu Glu Leu Thr Ile Val 5 3 0 5 3 5 5 4 0 Val Asp Asn Ser Val Leu Glu Val Tyr Ala Asn Gly Arg Phe Ala Leu 5 4 5 5 5 0 5 5 5 5 6 0 Gly Thr Trp Ala Arg Ser Trp Tyr Ala Asn Ser Thr Lys Ile Asn Phe 5 6 5 5 7 0 5 7 5 Phe His Asn Gly Val Gly Glu Ala Thr Phe Glu Asp Val Thr Val Phe 580 5 8 5 5 9 0 Glu Gly Leu Tyr Asp Ala Trp Pro Gln Arg Lys

600

5 9 5

```
< 2 1 2 > DNA
<213> Scopulariopsis brevicaulis
< 2 2 0 >
<221> CDS
\langle 2 \ 2 \ 2 \rangle (1).. (1839)
<400>5
caa cct acg tct ctg tca atc gac aat tcc acg tat cct tct atc gac
                                                                       48
Gln Pro Thr Ser Leu Ser Ile Asp Asn Ser Thr Tyr Pro Ser Ile Asp
                   5
                                       1 0
                                                             15
tac aac tcc gcc cct cca aac ctc tcg act ctt gcc aac aac agc ctc
                                                                       96
Tyr Asn Ser Ala Pro Pro Asn Leu Ser Thr Leu Ala Asn Asn Ser Leu
              2 0
                                   25
                                                         3 0
ttc gag aca tgg agg ccg agg gca cac gtc ctt ccg ccc cag aac cag
Phe Glu Thr Trp Arg Pro Arg Ala His Val Leu Pro Pro Gln Asn Gln
         35
                               4 0
                                                    4 5
atc ggc gat ccg tgt atg cac tac acc gac ccc gag aca gga atc ttc
                                                                       1 9 2
lle Gly Asp Pro Cys Met His Tyr Thr Asp Pro Glu Thr Gly Ile Phe
     5 0
                           5 5
                                                6 0
cac gtc ggc tgg ctg tac aac ggc aat ggc gct tcc ggc gcc acg acc
                                                                       2 4 0
His Val Gly Trp Leu Tyr Asn Gly Asn Gly Ala Ser Gly Ala Thr Thr
6 5
                     7 0
                                           7 5
                                                                 80
gag gat ctc gtc acc tat cag gat ctc aac ccc gac gga gcg cag atg
                                                                       288
Glu Asp Leu Val Thr Tyr Gln Asp Leu Asn Pro Asp Gly Ala Gln Met
                  85
                                        9 ()
atc ctt ccg ggt ggt gtg aat gac ccc att gct gtc ttt gac ggc gcg
                                                                       3 3 6
Ile Leu Pro Gly Gly Val Asn Asp Pro Ile Ala Val Phe Asp Gly Ala
             1 0 0
                                  105
                                                        1 1 0
gtt att ccc agt ggc att gat ggg aaa ccc acc atg atg tat acc tcg
                                                                       3 8 4
Val Ile Pro Ser Gly Ile Asp Gly Lys Pro Thr Met Met Tyr Thr Ser
        1 1 5
                                                   1 2 5
                              1 2 0
gtg tca tac atg ccc atc tcc tgg agc atc gct tac acc agg gga agc
                                                                       4 3 2
Val Ser Tyr Met Pro Ile Ser Trp Ser Ile Ala Tyr Thr Arg Gly Ser
    130
                          1 3 5
                                               1 4 0
gag acc cac tot oto goa gtg tog too gao ggo ggt aag aac tto acc
                                                                       480
Glu Thr His Ser Leu Ala Val Ser Ser Asp Gly Gly Lys Asn Phe Thr
1 4 5
                     150
                                           155
                                                                160
aag ctg gtg cag ggc ccc gtc att cct tcg cct ccc ttc ggc gcc aac
                                                                       5 2 8
Lys Leu Val Gln Gly Pro Val Ile Pro Ser Pro Pro Phe Gly Ala Asn
```

165	1 7 0	175
-----	-------	-----

							a a c A s n				576
							acc Thr				6 2 4
							t a c T y r 2 2 0				672
							t g g T r p				7 2 0
							g g c G l y				768
							g a t A s p				8 1 6
							g a a G l u				864
_	_	_	_	_	_		 atg Met 300	_	_	g c g A 1 a	9 1 2
							t t c P h e				960
							g c c A l a				1008
							agc Ser				1056
							t a c T y r				1 1 0 4

t t c P h e 3 7 0									ccg Pro	1 1 5 2
gag Glu										1 2 0 0
с g с А <b>r</b> g			_							1 2 4 8
gag Glu										1 2 9 6
atg Met										1 3 4 4
ссс Р <b>г</b> о 450										1 3 9 2
 ctg Leu										1 4 4 0
aag Lys									•	1 4 8 8
t a c T y r					_	_	_			1536
agt Ser										1584
g g c G l y 5 3 0										1632
gag Glu										1680
саt Ніѕ			_			_	_		_	1728

tac gag tcg tcc aag gac atc aag ttc ttc cac gat ggc gac agc acg Tyr Glu Ser Ser Lys Asp Ile Lys Phe Phe His Asp Gly Asp Ser Thr 580 5 8 5 5 9 0 gtt cag ttc tcg aac atc acc gtc tac gag gga ctg ttt gac gcc tgg 1824 Val Gln Phe Ser Asn Ile Thr Val Tyr Glu Gly Leu Phe Asp Ala Trp 5 9 5 6 0 0 6 0 5 1839 ccg gag cgg gcc agg Pro Glu Arg Ala Arg 6 1 0 < 2 1 0 > 6 $\langle 2 1 1 \rangle 6 1 3$  $\langle 2 1 2 \rangle$  PRT <213> Scopulariopsis brevicaulis  $< 4 \ 0 \ 0 > 6$ Gln Pro Thr Ser Leu Ser Ile Asp Asn Ser Thr Tyr Pro Ser Ile Asp 1 0 15 Tyr Asn Ser Ala Pro Pro Asn Leu Ser Thr Leu Ala Asn Asn Ser Leu 20 25 3 0 Phe Glu Thr Trp Arg Pro Arg Ala His Val Leu Pro Pro Gln Asn Gln 35 4 0 4 5 lle Gly Asp Pro Cys Met His Tyr Thr Asp Pro Glu Thr Gly Ile Phe 5 0 5 5 6 0 His Val Gly Trp Leu Tyr Asn Gly Asn Gly Ala Ser Gly Ala Thr Thr 65 7 0 7 5 80 Glu Asp Leu Val Thr Tyr Gln Asp Leu Asn Pro Asp Gly Ala Gln Met 85 95 90 Ile Leu Pro Gly Gly Val Asn Asp Pro Ile Ala Val Phe Asp Gly Ala 100 1 0 5 110 Val Ile Pro Ser Gly Ile Asp Gly Lys Pro Thr Met Met Tyr Thr Ser 1 1 5 1 2 0 1 2 5 Val Ser Tyr Met Pro Ile Ser Trp Ser Ile Ala Tyr Thr Arg Gly Ser 130 1 3 5 1 4 0 Glu Thr His Ser Leu Ala Val Ser Ser Asp Gly Gly Lys Asn Phe Thr

155

160

1 4 5

150

Lys	Leu	V a l	Gln						S e r 1 7 0					A 1 a 1 7 5	Asn
Val	Thr	Ser	Trp 180	Arg	Asp				P h e				G 1 n 1 9 0	Phe	Asp
Ser	Leu	L e u 1 9 5	Glu	Ser		Asn		Thr	Trp	Tyr	Thr	V a 1 2 0 5	I 1 e	Ser	G 1 y
G 1 y	I 1 e 2 1 0	His	Gly	Asp	G 1 y				P h e		T y r 2 2 0	Arg	Gln	His	Asp
Pro 225	Asp	P h e	Gln	Tyr	Trp 230		Tyr	Leu	G 1 y				Asn		G 1 u 2 4 0
G 1 y	Asn	Ser	Thr						Trp 250						Tyr
Asn	Phe	Glu	V a 1 2 6 0						Leu				G 1 y 2 7 0	Tyr	Asn
Pro	Asp	G 1 y 2 7 5							G 1 y				Ser	P h e	Asp
Pro	I 1 e 2 9 0	Lys	Pro	Gln	Ala				Arg		M e t 3 0 0	Leu	Trp	Ala	Ala
		Met													
Ala	Gly	Туr	Leu		Trp						Ala			G 1 y 3 3 5	Lys
Glu	Leu	Pro							Gln				A 1 a 3 5 0	Pro	Asp
Arg	P h e	V a l 3 5 5	Ser		Leu	Trp			Gly				Glu	Gly	His
Asp	P h e 3 7 0	Pro							Thr		S e r 3 8 0	Leu	Leu	Leu	Pro
		Leu													
Ala	Arg	Glu	Thr	G 1 y 4 0 5	Ser	Trp	Arg	V a l	G 1 y 4 1 0	Thr	Asn	Asp	Thr	G 1 y 4 1 5	V a l
Leu	Glu	Leu	V a l	Thr	Leu	Lys	Gln	Glu	Ile	Ala	Arg	Glu	Thr	Leu	Ala

4 2 0 430 4 2 5 Glu Met Thr Ser Gly Asn Ser Phe Thr Glu Ala Ser Arg Asn Val Ser 435 4 4 0 4 4 5 Ser Pro Gly Ser Thr Ala Phe Gln Gln Ser Leu Asp Ser Lys Phe Phe 4 5 5 450 4 6 0 Val Leu Thr Ala Ser Leu Ser Phe Pro Ser Ser Ala Arg Asp Ser Asp 4 6 5 470 4 7 5 Leu Lys Ala Gly Phe Glu Ile Leu Ser Ser Glu Phe Glu Ser Thr Thr 495 485 490

Val Tyr Tyr Gln Phe Ser Asn Glu Ser Ile Ile Ile Asp Arg Ser Asn 5 0 0 5 0 5 5 1 0

Ser Ser Ala Ala Ala Leu Thr Thr Asp Gly Ile Asp Thr Arg Asn Glu 5 1 5 5 2 0 5 2 5

Phe Gly Lys Met Arg Leu Phe Asp Val Val Glu Gly Asp Gln Glu Arg 5 3 0 5 3 5 5 4 0

lle Glu Thr Leu Asp Leu Thr Ile Val Val Asp Asn Ser Ile Val Glu 5 4 5 5 5 0 5 5 5 5 6 0

Val His Ala Asn Gly Arg Phe Ala Leu Ser Thr Trp Val Arg Ser Trp 5 6 5 5 7 0 5 7 5

Tyr Glu Ser Ser Lys Asp Ile Lys Phe Phe His Asp Gly Asp Ser Thr 580 585 5 9 0

Val Gln Phe Ser Asn Ile Thr Val Tyr Glu Gly Leu Phe Asp Ala Trp 6 0 0 5 9 5 6 0 5

Pro Glu Arg Ala Arg 6 1 0

< 2 1 0 > 7

< 2 1 1 > 2 7

< 2 1 2 > DNA

<213> Artificial Sequence

< 2 2 0 >

<223> Description of Artificial Sequence: Primer

 $< 4 \ 0 \ 0 > 7$ 

480

```
< 2 1 0 > 8
< 2 1 1 > 2 2
\langle 2 1 2 \rangle DNA
<213> Artificial Sequence
< 2 2 0 >
<223> Description of Artificial Sequence: Primer
< 4 \ 0 \ 0 > 8
gcggatcccg gtcaatttct ct
                                                                                              2 2
< 2 1 0 > 9
< 2 1 1 > 9
<212> DNA
<213> Aspergillus niger
< 2 2 0 >
<221> CDS
\langle 2 \ 2 \ 2 \rangle (1).. (9)
< 4 \ 0 \ 0 > 9
gac gag gac
Asp Glu Asp
< 2 1 0 > 1 0
< 2 1 1 > 9
\langle 2 1 2 \rangle DNA
<213> Aspergillus niger
< 2 2 0 >
<221> CDS
\langle 2 \ 2 \ 2 \rangle (1).. (9)
< 4 0 0 > 1 0
ttc ctg ccc
Phe Leu Pro
< 2 1 0 > 1 1
< 2 1 1 > 9
\langle 2 1 2 \rangle DNA
<213> Aspergillus niger
< 2 2 0 >
<221> CDS
```

```
\langle 2 \ 2 \ 2 \rangle (1).. (9)
< 4 0 0 > 1 1
tcc atc ccc
Ser Ile Pro
< 2 1 0 > 1 2
< 2 1 1 > 9
< 2 1 2 > DNA
<213> Aspergillus niger
< 2 2 0 >
<221> CDS
\langle 2 \ 2 \ 2 \rangle (1).. (9)
< 4 0 0 > 1 2
gcc ttc gac
Ala Phe Asp
< 2 1 0 > 1 3
< 2 1 1 > 9
< 2 1 2 > DNA
<213> Aspergillus niger
< 2 2 0 >
<221> CDS
\langle 2 \ 2 \ 2 \rangle (1).. (9)
< 4 \ 0 \ 0 > 1 \ 3
gtg tac ggc
Val Tyr Gly
  1
< 2 1 0 > 1 4
< 2 1 1 > 9
< 2 1 2 > DNA
<213> Aspergillus niger
< 2 2 0 >
<221> CDS
\langle 2 \ 2 \ 2 \rangle (1).. (9)
< 4 0 0 > 1 4
gcc ctg cag
                                                                                                 9
Ala Leu Gln
```

```
1
```

```
< 2 1 0 > 1 5
<211> 9
<212> DNA
<213> Aspergillus niger
< 2 2 0 >
<221> CDS
\langle 2 \ 2 \ 2 \rangle (1).. (9)
< 4 0 0 > 1 5
ttt tcg gag
Phe Ser Glu
< 2 1 0 > 1 6
< 2 1 1 > 9
<212> DNA
<213> Aspergillus niger
< 2 2 0 >
<221> CDS
\langle 2 \ 2 \ 2 \rangle (1).. (9)
< 4 0 0 > 1 6
atc gac gac
Ile Asp Asp
< 2 1 0 > 1 7
< 2 1 1 > 9
< 2 1 2 > DNA
<213> Aspergillus niger
< 2 2 0 >
<221> CDS
\langle 2 \ 2 \ 2 \rangle (1).. (9)
< 4 \ 0 \ 0 > 1 \ 7
ttg atg ggc
Leu Met Gly
< 2 1 0 > 1 8
```

<210> 16

```
<212> DNA
<213> Aspergillus niger

<220>
<221> CDS
<222> (1).. (9)

<400> 18
gtc tgc ttg
Val Cys Leu
```

【書類名】要約書

【要約】

【課題】 フラクトオリゴ糖の製造に適するように反応特性が改善されたβーフルクトフラノシダーゼ変異体の提供。

【解決手段】 本発明によれば、特定のアミノ酸残基において変異を有する配列番号 2 に記載のアミノ酸配列またはその相同体からなる、 $\beta$  ーフルクトフラノシダーゼ変異体が提供される。

【選択図】 なし

 0 0 0 0 0 6 0 9 1

 19900803

 新規登録

東京都中央区京橋2丁目4番16号明治製菓株式会社